

\*\*\*\* 目次 \*\*\*\*

ヨコハマ港が、戦争の拠点に…!! 横浜ノースドックへの揚陸艇部隊配備に反対 林 義重 1  
同 横浜市長あて署名用紙 コピー用 3    **コラム** 改憲より原発ゼロ いまいち りょう 10  
辺野古新基地建設で最高裁判決に抗議行動を 「止めよう! 辺野古埋立て」国会包囲実行委員会 4  
沖縄戦遺骨土砂の不使用を求める川崎市での署名運動の報告 若槻武行 5  
沖縄の島々を襲う 次元を超える軍事化 毛利孝雄 6  
「生物多様性」環瀬戸学習会 講師; 湯浅一郎 7  
岸田政権の沖縄再 戦場化に反対する 山咲 8    琉球弧と中国と台湾有事 戦争はもう、そこまで! 林 9  
**三上智恵監督作『沖縄、再び戦場へ(仮)』スピノフ(45分)上映会を開こう 10**  
これは見逃せない韓国のドキュメンタリー映画『金 福童』希望を失わず、苛烈に生きた93年 12  
**朝鮮半島への植民地加害(2) 三・一独立運動 10枚のレリーフを屋外展示: タブコル公園 13**  
「辺野古埋立土砂搬出反対! 首都圏グループ」(≒「土砂首都圏 G」)の概要 18

## ヨコハマ港が、戦争の拠点に……!!

### 横浜ノースドックへの揚陸艇部隊配備に反対

林 義重    辺野古新基地埋立土砂搬出反対! 首都圏グループ

#### ノースドックって何、何処に？

横浜市 JR 東神奈川駅南東、横浜駅やみなとみらい地区の埠頭。横浜港の北手前。こんな所！に米軍基地がある。「横浜ノースドック」。米軍は02～04年に、53mのLCU揚陸艇など多数運び込んでいた。

これまで陸軍の揚陸作戦の各種戦争資材を保管していたが、最近、海・空軍も海兵隊も岸壁他の施設を集積・保管に使い、海軍は情報収集の調査船などの拠点にしている。

今年(2023年)1月11日の日米外務・防衛担当閣僚会合(2+2)で、揚陸艇「部隊」の配備を言ってきた。それは、突然の発表だった。

#### 当初は保管だけだったが…

政府(防衛省)の説明では、新たな部隊は約280名の常駐要員と既存の13隻の船舶で編成。その第一陣の幹部約5人が、去る4月16日に着任し、残る要員は、今年から来年にかけて配置されるという。

揚陸艇部隊とは戦争映画でお馴染みの、陸軍が敵地の港のない海岸へ上陸する時、戦車や装甲車などの軍用車両や物資、兵士を陸揚げする揚陸艇を扱う部隊。



ノースドックにはヘリポートはない筈。それなのに、すでに、米軍のヘリコプターやオスプレーが頻繁に離発着し、危険な飛行訓練も行なっているとの目撃談もある。また、日本の自衛隊も一部共同使用し訓練もしている。

### 港ヨコハマが「戦争の拠点」に

当初は「保管」だけで「運用」しない筈だったが、今回の「部隊」の配備で、保管されてきた揚陸艇などが戦場へ行くことになる。

1月の日米「2+2」では、横浜ノースドックへの揚陸艇部隊の配備とともに、沖縄の海兵隊の部隊を「海兵沿岸連隊(MLR)」という名前の部隊に再編することも合意された。MLRとは、ミサイルなど強力な攻撃兵器を持ったいくつもの小規模部隊に分かれて、戦争の際に沖縄の南西諸島などの島々に分散配置する部隊。ノースドックへの揚陸艇部隊の配置は、緊急事態等に対応して「南西諸島を含む所要の場所に迅速に部隊・物資を展開可能」（日本政府の説明）にするためとされている。

すなわち、ノースドックの新たな部隊は、与那国・石垣・宮古島等の南西諸島から沖縄本島・奄美群島・九州に至る「琉球弧」の列島線を戦場にして戦う兵士や装備を輸送する戦闘部隊ということになる。この部隊の配備は、横浜港が戦争遂行の実戦的な拠点になる訳で、当然、相手国からの攻撃対象にもなる。



LCU 大型揚陸艇(左)とエア・クッション LCAC 揚陸艇;いずれもイメージ

### 地元自治体には何の連絡もなし

米軍は今回の揚陸艇部隊は、緊急事態に「所要の場所に迅速に部隊・物資を展開可能」という（政府説明）。

つまり台湾有事の奄美・沖縄の南西地方での武力戦争で、神奈川から人員と物資を戦場に輸送する、戦場と横浜が一体となり、相手国からの攻撃にさらされる。ということだ。

ところが、横浜市や神奈川県など地元の自治体には、この件について、事前に何の連絡もなかった。横浜市は、ノースドックを含む横浜港全体の港湾管理者としての責務と権限がある。

私達はまず、横浜市長が日米両政府に対し、①への揚陸艇部隊の配備に反対してその撤回を求めること、②米軍基地ノースドックを日本へ早期返還することを改めて強く求め、横浜市に対する署名運動を行なっている。

**※次ページに、横浜市長あて署名用紙を掲載。コピーするなどして、ご活用ください。**

## 横浜 ノース ドックへの揚陸艇部隊の配備反対県民署名

横浜市の中心部にある米軍基地「横浜ノースドック」が、大きく変えられようとしています。本年1月11日、日米安全保障協議委員会(2+2)は、横浜ノースドックに揚陸艇部隊約280名を配備することを合意し、すでに4月16日に幹部要員5名程度が配置されて同部隊が新編され、今年から来年にかけて部隊全体が配置される予定とされています。

政府は、この新たな部隊の配備について、「戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面する中、南西諸島を含む所要の場所に迅速に部隊・物資を展開可能」とするものと位置づけ、様々な緊急事態に日米が連携して対応する能力が向上するなど説明しています。これは、昨年12月に閣議決定されたいわゆる安保3文書(国家安全保障戦略等)も想定している南西地域での武力紛争、すなわち台湾有事等に対しノースドックに新編された揚陸艇部隊が実戦的な役割をこなすことを意味します。そしてそのような任務を遂行する部隊が配備されることは、ノースドックが戦争態勢に組み込まれ、戦争遂行の実質的な拠点となり、さらには相手国からの攻撃対象にもなりうることを意味します。

私達が住む神奈川県は、沖縄県に次ぐ基地県です。横須賀基地、厚木基地、相模補給廠、キャンプ座間など重要な米軍基地が多数存在するほか、在日米海軍や在日米陸軍の中核機能も集中し、さらには横田基地、富士演習場なども隣接しており、ノースドックは、それらの基地と海上交通を結ぶ玄関口です。そのノースドックが南西諸島と直結した戦争遂行の拠点としての機能をもつことは、横浜市ばかりでなく神奈川県全体にとっても、地域と住民が米軍の戦争遂行態勢に組み込まれることを意味し、その影響の大きさ危険性は測り知れません。

このノースドックを含む横浜港の港湾管理者である横浜市は、港湾全体の管理運営について公的な責務と権限を一元的に有しており、そのような地方自治体として、危険な港湾の使用によって横浜市民、神奈川県民の命と生活が脅かされることを防止する責務と権限があります。もとより横浜市は、住民の意思を体て、ノースドックを含む市内の米軍基地の早期返還を一貫して求めてきています。今回の上記日米両政府の決定は、このような地方自治体と地域住民の意志を踏みにじるものであり、憲法の定める地方自治の本旨にも反するものです。

それゆえ、私たちは、神奈川県民として、横浜市長に対し、次のことを求めます。

1. 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊の配備について、日米両政府に対し、これに反対してその撤回を求め、配備中止の実現を図ること。
2. 横浜ノースドックの早期返還を、日米両政府に対し改めて強く求めること。

なお、この署名の結果は神奈川県知事にもご報告しますので、同知事との連携した取組を求めます。

2023年6月

横浜市長 山中竹春 殿

氏名	住所

【呼びかけ人】青井美穂(学習院大学教授)、阿部浩己(明治学院大学教授)、石黒康仁(弁護士)、岡田尚(弁護士)、清水雅彦(日本体育大学教授)、高原孝生(明治学院大学教授)、中西新太郎(横浜市立大学名誉教授)、永山茂樹(東海大学教授)、福田護(弁護士)、本田正男(弁護士)、森卓爾(弁護士)、山根徹也(横浜市立大学教授)

【連絡先】〒231-0023 横浜市中区山下町207-2 関内JSビル6階 横浜ノースドック揚陸艇部隊配備反対・署名実行委員会 担当弁護士 岡田尚 【署名集約】2023年9月30日

【Email】stop\_nd\_2023@ymail.ne.jp 【ホームページ】[https:// stopnd.jimdosteo.com](https://stopnd.jimdosteo.com)

# 辺野古新基地建設で防衛省の大幅設計変更は不当!!

## 最高裁判所への抗議行動について

呼びかけ 「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

辺野古新基地建設に関し、大幅設計変更申請を巡る訴訟の最高裁判決が、8月から9月にかけて出されようとしています。もし仮に、設計変更を認める不当判決（決定）が出た場合、当日とその1週間後に最高裁判所への抗議行動を呼びかけます。多くの皆さんが、最高裁判所への怒り、抗議の声を携えて結集されることを強く要請します。

この訴訟は大浦湾埋め立て予定地の軟弱地盤について、大幅な設計変更を余儀なくされた沖縄防衛局が、沖縄県・玉城デニー知事に変更の申請を行ったところ承認されず、防衛局が国土交通相に行政不服審査を請求。これを受けて国交相が知事に承認を求める是正指示を出したことを不当として知事が提訴しているものです。

多くの専門家は軟弱地盤を改良することは不可能と指摘しており、知事の判断は全く正当です。完成の見込みのない工事に巨額の税金を注ぎ込むことは全く不当であり、これ以上の基地建設はいらないという沖縄の人々の民意に反します。

しかも政府は現在、埋立てがほぼ完成した辺野古浜側に大浦湾の埋め立て用土砂を「仮置き」する計画を進めています。埋立て工事が承認されていない中で新たな作業は違法な行為であり、知事も強く抗議しています。こうした状況下で最高裁が国交相の「是正指示」を認める判決を下すことは、政府の違法な行為を容認することに他なりません。

政府の国策に従属した最高裁判所の不当な判決に抗議する行動に参加しましょう。  
政府・防衛省に対して基地建設の即時停止、計画の撤回を求める行動を。

〈緊急行動〉

- ◎日時 最高裁判所の判決（決定）が出た日の午後6時半から。
- ◎場所 最高裁；西門（通用口）前（有楽町線・永田町駅・半蔵門線「半蔵門」駅下車）。
- \*公表時刻は不明だが、早く情報をキャッチし、出来る限りの方法で広く伝えます。

〈1週間後の行動〉

- ◎日時 最高裁判所の判決（決定）が出た1週間後の午後6時半から。
- ◎場所 最高裁判所西門（通用口）前。

## 沖縄県民大集会

11/23(木・休) 那覇・奥武山公園で開催

「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」が、7月25日大小75団体の賛同で発足した。11月23日には「県民大集会」が予定される。沖縄現地への参加をはじめ、全国各地でも連帯集会などが企画されていくこと

になるはず。戦争に反対し、とりわけ東アジアの民衆連帯による平和創出へ、希望をつなぐ一日になるよう努力したい。

久しぶりの大イベントとして、全国で取り組みたいのですが、詳細はこれから決まります。従って、首都圏も沖縄の様子を見て、これから決まります。



18年8/11 県民大集会。「赤旗」HPより

## 沖縄戦遺骨土砂の不使用を求める川崎市での署名運動の報告

太平洋戦争戦没者の遺骨を含む沖縄県南部の土砂を、海の埋め立て等の公共事業に使わないよう、私達は運動してきました。国（防衛省）に対し、この件を支持する意見書を決議するよう求めた、川崎市議会への陳情は、同議会の総務委員会で「不採択」となりました。この問題について、以下、報告いたします。

神奈川県出身の太平洋戦争沖縄戦の戦没犠牲者は 1,334 人で、沖縄本島の「平和の礎」の碑に刻まれています。その遺骨を含む土砂を公共施設の埋立てなどにしないよう意見書の採択をした神奈川県の自治体は、鎌倉市、中井町、逗子市、伊勢原市、葉山町、大磯町の 6 市町です。

川崎市では、その陳情署名運動を昨年夏から行っていました。今年に入り市議会議員選挙があり、新たな議員も加わった市議会となりました。陳情賛同署名者が 608 名となった 6 月 13 日に、陳情書と署名簿を提出。同日「陳情第 12 号」として受理され、7 月に総務委員会に付託され、この 8 月 17 日の審議が決まりました。当初、私はこの委員会を傍聴する予定でしたが、朝からあまりにももの猛暑で、断念したことをお許しください。

審議の様子は「みらい」会派の立憲民主党の嶋田和明議員（総務委員会委員）と、鈴木朋子議員、共産党の議員の関係者から直接・間接（メール等）で報告を受けてきました。

共産党は陳情に賛成でしたが、「みらい」会派には中道右派系の人もいて纏まらなかったのか「継続扱い」を求めたそうです。結局、総務委員会の多数決では「不裁決」すなわち「敗北」となってしまいました。

この件は、辺野古新基地の埋立てとは無関係で、人道的な問題として陳情していた筈でした。ところが市議会事務局は、我々の添付資料も陳情書さえもよく読まず、勝手に辺野古新基地関係の設計変更（沖縄南部の遺骨を含む土砂の使用を含む）の資料を総務委員会に提出しています（市議会HP）。それだけでなく野党も含め自民党の言いなりの議員が多い市議会です、総務委員会の議員は当然「辺野古新基地の賛否」として受止め、「不裁決」としたと考えられます。

辺野古新基地の賛否について陳情書ではほとんど記載せず、人道上的問題としてきましたが、意図的に「辺野古」を出したのではないかと疑っています。この資料のことがもっと早く判っていたら、市議会事務局や総務委員会委員長（みらい会派）に働きかけることができたのですが、残念です。

ともあれ署名運動に参加された陳情者の皆様には敬意を表するとともに、感謝いたします。今日の自公政権は、人道さえも無視し戦争と不正の道を進み続け、今後もこれらに抗する新たな運動も生れると存じます。近いうちにまた一緒に運動することもあるかと存じますが、その時はよろしく願い申し上げます。

署名取纏め&陳情責任者：若槻武行（川崎市麻生区在住、土砂首都圏 G 世話人



# 沖縄の島々を襲う、次元を超える軍事化

毛利孝雄（沖縄大学地域研究所特別研究員，土砂首都圏 G 世話人）

**戦場化を前提とした自衛隊配備・ミサイル基地化が急速に進む  
問われている私たちの戦後責任＝戦争を繰り返さない責任あり**

「変わらぬ基地、続く苦悩」は、昨年5月15日の琉球新報一面トップの見出しです。50年前と同じ見出しを使い、50年間変わることのなかった沖縄の現実を活写しました。

6/23、4/28、5/15……これらは沖縄の戦後史を象徴する記憶の日々です。

しかし、この1年の沖縄は、これらの持つ意味を検証する次元を超える事態に移行しているのではないか。安保関連3文書とともに、沖縄の島々では戦場化を前提とした自衛隊配備・ミサイル基地化が急速に進んでいることです。

北朝鮮による「衛星」発射を奇貨として宮古・石垣・与那国に持ち込まれたPAC3は、現在(6/15)も居座り続けています。米軍専用施設の70%集中に加え、自衛隊基地面積は復帰時の4・7倍に増えました。



石垣島に島民を騙して新設した地対艦・地対空の大型ミサイル基地

## ◎与那国島・石垣島では…

与那国島では、過疎対策と経済活性化のための自衛隊誘致を巡って住民の意見が2分する中で16年に沿岸監視部隊駐屯地が開設されました。町長は「米軍やミサイル配備はない」と説明してきましたが、昨年末の日米合同演習では自衛隊機動戦闘車が公道を走り、訓練には米兵が初めて参加しました。

政府は今後、電子戦部隊・地対空ミサイル部隊配備を予定していますが、町長は軍事利用が想定される空港滑走路の延長・港湾整備を要請、さらに島外への避難者を助成する基金条例が検討される事態になっています。

全島要塞化（硫黄島化—全島が基地となり自衛隊員以外の立ち入りは禁止）にもつながる可能性も指摘されています。小さな与那国島を巡るこの10年、反対住民らの苦悩を考えると胸の裂かれる思いがします。

石垣島では、この3月に地対艦・地対空ミサイル部隊を配備する石垣駐屯地が開設されました。沖縄県の最高峰・於茂登岳中腹の緑を切り裂いた石垣駐屯地。周辺は、沖縄戦後の極貧の中で、また、戦後米軍による土地接収からこの地に入った沖縄島の人たちが、開拓し農業を軌道に乗せ、若い世代に引き継いできた場所です。

沖縄戦と米占領史の断面を刻んだその土地を、今度は自衛隊のために差し出せという二重・三重の理不尽を許せるのでしょうか。工事開始を前に住民投票を求めた署名には、有権者の3人に1人が賛同したにもかかわらず、議会も司法も民意を無視し続けています。

## ◎問われている私たちの戦後責任＝戦争を繰り返さない責任あり

急速に進む南西諸島の軍事化に対して、沖縄では「再び沖縄を戦場にさせない！」ために、団体や世代を超えた新たな努力が始まっています。また、玉城デニー知事による

沖縄県独自の東アジア自治体平和外交がスタートし、県議会も決議で後押ししています。これらの動きを注視し連帯したい。

78年前のこの季節、沖縄戦は南部を中心に苛烈を極めていました。その沖縄戦からの最大の教訓は「軍隊は住民を守らない」です。戦争をやらないこと以外に住民を守る方法はありません。

そして重要なことは、この教訓が戦後直後から始まった「鉄の暴風」編纂や「ひめゆり祈念館」に結実する学徒らの体験記録、市町村誌や字(あざ)(自治組織)誌編纂のための体験者からの聞き取り、「平和の礎」刻銘のための悉皆(しっかい)調査など、文字通り沖縄戦体験者をはじめ関係者の苦悩・葛藤・勇気・努力を通じて県民の中に「獲得されてきたもの」だという点です。

アウシュヴッツ博物館の元館長で、自らもそこに政治犯として収容されていたカジミエシュ・スモレンさんは、若い世代のドイツ人見学者に次のように語ったといいます。

「君たちに戦争責任はない。でもそれを繰り返さない責任はある」

私たちにはいま、この「戦後責任」が問われていることを強く自覚したいと思います。

~~~~~

## 「生物多様性国家戦略」についての学習会のご案内

生物多様性に関する新たな世界目標；「昆明(クンミン)・モントリオール生物多様性枠組み」が2022年12月に合意され、政府は今23年3月、「生物多様性国家戦略2023-2030」を閣議決定しました。そこでは、「あらゆる領域で社会変革が必要」とし、「陸域及び海域の30%以上を保護地域により保全する」と高い目標を掲げています。

辺野古新基地建設の埋め立て対象である**辺野古・大浦湾**は、ジュゴンやウミガメ、多様なサンゴをはじめ5300種以上が生息し、2019年にはホープ・スポット(希望の海)に認定された国際的に貴重な生物多様性の宝庫です。浦添西海岸軍港建設をはじめ、これ以上沖縄の沿岸域を開発することと生物多様性国家戦略には矛盾はないのか……。

講師；湯浅一郎さん(環境NGO・環瀬戸内会議・共同代表、ピースデポ代表)

日時；9月2日(土)13:30～

開催方法；リモート ZOOMの招待アドレス

<https://us06web.zoom.us/j/86151742188?pwd=bHQ2OFZUcFZ1d0RXV3JMUmk3djNkdz09>



生物多様性の保全に取り組んでいる企業も。ソフトバンクのHPより

~~~~~

# 岸田政権の沖縄再戦場化に反対する

今、岸田自公政権が進めている政策は自衛隊による「専守防衛」を遥かに超える「敵基地への専制攻撃能力」のある軍備です。昨年12月の「安保関連3文書」です。憲法違反の最先端を行く、安保政策の大転換を、国会でなく閣議で決定したのです。

それは、南西諸島から九州に至る「琉球弧」を、戦争の最前線基地にする戦争の準備の体制です。

具体的には、

- ①那覇市の自衛隊第15旅団を規模の大きい師団への格上。
  - ②うるま市に12式地对艦ミサイル部隊の配備。
  - ③沖縄市への弾薬庫建設。
  - ④宮古島の民間空港＝下地島空港を自衛隊基地とする。
  - ⑤与那国島への電子戦部隊と地对空ミサイル部隊の配備。
  - ⑥石垣島に12式地对艦ミサイル部隊の配備（4月から）強行。
  - ⑦沖縄の戦場化を想定した医療拠点として、那覇市の自衛隊病院の増改築。
- ……などの「台湾有事」に備えた戦争準備です。本年1月の日米安全保障協議委員会（2+2）では、米軍の嘉手納弾薬庫を自衛隊と共同使用することも決定しています。

今すでに、地对空・地对艦の大型ミサイル基地は、宮古島で配備済、石垣島で今月配備完了、沖縄島＝年内配備となり、数年先には射程が1000kmの敵基地攻撃の能力を持つミサイルに代えようとしています。

この沖縄の戦場化、長距離ミサイルの配備に反対する現地・沖縄での動きは、保守色の強い石垣島でも、昨年12月に市議会が反対の意見書を可決しましたが、これには自衛隊誘致派の一部議員も含まれていました。また玉城知事も当然、長距離ミサイルの配備に反対を表明しています。今や、保守・革新の枠を超えて、「再び沖縄を戦場にさせない！」との一致点で県民の総結集にむけての闘いも始まっています。さらに沖縄県はアジア・太平洋地域に平和を希求する「沖縄の心」を発信。自治体として平和外交を進める「地域外交室」を設置しました。

我々は、この沖縄からの訴えを受け止めて、沖縄の運動に呼応した戦いを進めていかなければなりません。辺野古新基地の建設は進んでいませんが、沖縄を中心とする琉球弧の先制攻撃の戦争準備は、留まることなく進んでいます。全国を戦場にする安保関連3文書の撤回を求め、戦いを進めて行きましょう。

山咲 （土砂首都圏G）





## 琉球弧と中国と台湾有事 戦争はもう、そこまで！

何十年という長い年月も過ぎてしまえば、ついこの前のようだ。年を取ると、時間が経つのが速くなる。日本は小生が生まれた時もまだ、中国を侵略・植民地化し、殺戮、強奪、抑圧する戦争を続けていた。アヘン戦争以来近年まで、日本を含む欧米列強からの侵略で、中国・アジアは分断と抑圧で苦しめられて来た。

それは日本人の差別意識と共に今も変わっていない。一時的に友好関係を保っていた時期もあるが、一たび崩れると、差別・抑圧とそれに対する恨みつらみがぶつかる……！ そんな国民感情を利用し、台湾有事、中国との戦争脅威が過剰に騒がれている。

1月7日開催「日米外務・防衛担当大臣会議」(2+2)で「琉球弧」全域(第一列島線)の対中国戦争の最前線基地化の合意が明らかになった。沖縄本島の辺野古新基地は、その要だ。普天間の単純な移転先ではない。滑走路を二本、オスプレー搭載空母の軍港、弾薬庫などを完備し、普天間基地をはるかにしのぐ巨大な新基地である。しかし、その工事は今、難航している。辺野古新基地の埋立て工事は、まだ8割以上が残っている。

※ 最初の工事は大浦湾の深場の埋立てからだった。沖縄県は不許可だが、なぜ後回しにしたか。この海域の水面下30mの海底が0~60mマヨネーズ状の軟弱地盤だったから。その地盤改良のため直径1~2mの砂杭7万本を打ち込み、埋立てるといふ。しかし、90mもの砂杭は前代未聞、経験がない。技術的には無理があり、完成後の地盤沈下は十分予想できる。従って「この海域の埋立は不可能で、工事はとん挫する」と専門家の多くが言っている。

それでも辺野古新基地建設工事を続けたい理由はなにか。メンツとか、利権とかというつまらない理由が強い。それ以上に、台湾有事に備えることも大きい。日本の自衛隊を背後から支えたいため、米軍というより日本政府の意向ともいえよう。

中国の侵攻に備え、沖縄本島から南に宮古・石垣・与那国島・台湾と、北は奄美群島、トカラ列島、大隅諸島、九州の「琉球弧」軍事要塞化が進んでいる。ここは「台湾有事」に中国との戦場となる。だから自民党政権は辺野古新基地工事を強引に進める。特に安倍政権時代の2019年から、この島々に最新型の実験ミサイルを配備した自衛隊基地建設を本格的に進めている。

まず、宮古島に陸自警備部隊、地対艦・地対空ミサイル部隊など800人規模を、石垣島も同様に地対艦・地対空ミサイル部隊など600人規模を、与那国島では最新大型レーダーを装備した沿岸監視部隊150人規模を配備した。時を同じくして、奄美群島でも自衛隊の基地が増強・増設されている。奄美大島奄美市に2019年3月、奄美駐屯地に陸自の地対空ミサイル部隊他を配備、瀬戸内町節子では同じ2019年に、瀬戸内分屯地に陸自の地対艦ミサイル部隊他を、島内ではさらに空自の高性能レーダー部隊、海自の基地分遣隊などがあらたに配備された。



自然豊かで平和な奄美の沖永良部島にもレーダー通信基地が作られた

喜界島や沖永良部島等にも高性能レーダーが配備の通信基地になっている。また、奄美の北の薩南諸島で種子島の隣の馬毛島にも陸海空自と米軍の飛行場があり、情報本部として事前集積拠点になって、「琉球弧」では軍事要塞化が完成しつつある。

中国にとっては「目の上のたん瘤」どころではない。まさに対中国最前線基地だ。地方自治・民主主義もない、「本土」との分断は露骨だ。すでに「一触即発」に備えている。気が付いたら、戦争はもうそこまで来ていたのだ。

林(土砂首都圏G)

~~~~~

# 三上智恵監督 最新作『沖繩、再び戦場へ<sup>いくさば</sup>(仮)』

## スピノフ作品(45分)上映会を開こう

年劇場公開にむけて三上智恵監督の新作ドキュメンタリー映画『沖繩、再び戦場(いくさば)へ(仮)』の製作をスタートした。その完成に先んじて、沖繩記録映画製作を応援する会と三上智恵監督は、「刻々と変わっていく、沖繩の予断を許さない状況と危機感を全国の皆さんに今すぐ共有していただきたい」と提案している。

――新作映画のために撮影した映像の一部から、45分ほどのスピノフ作品を製作しました。現在、このスピノフ作品の上映会を開催したいという方に無償で貸出しています。この状況をより早く、より広く共有するため、ぜひ何度でも上映会を開催してください。

また、上映会開催にあたっては、ぜひ『沖繩、再び戦場へ(仮)』カンパ金募集チラシの配布をお願いします。新作完成へ向けて、どうかお力添えをいただけますようお願いいたします。――  
(土砂首都圏G)

## 新作『沖繩、再び戦場へ(仮)』スピノフ作品の無料貸し出しについて

### 三上智恵監督の話(要旨)

安保三文書で日米政府は「南西諸島にミサイルを並べ、先制攻撃の報復を受け、戦場になるもやむなし」との本音も暴露しました。その島々では、これから軍事化が急ピッチで進みます。いま制作中の新作映画は、平和を求めて戦う沖繩の最前線を描いた2017年の『標的の島/風かたか』の続編にあたります。2017～23年の戦争に突き進む怒涛の日々が描かれることとなりますが、

しかし映画館での公開は早くても2024年春以降。その時は、沖繩が予断を許さない状況を考えねばならないと危惧しています。そこで、45分程のスピノフ映像を希望者に無償で提供し、危機感を共有していただきたいと思うに至りました。みんなで見ようよ！と声を掛けられる仲間と、「見る会」を開催していただきたいのです。戦争に向かうこの国の流れを止める小さな単位が各地に生まれ、この動画を見たことで「見ざる・聞かざる・言わざるになるものか！」と決意した人たちが、既成の政党や運動にとらわれず、同じ危機感を持つ人たちと集まり直すきっかけになれば……、全国に同時多発的に沖繩の現状を見て、この国を憂い動き出す人々がどんどん誕生する……、思うだけでもワクワクします。そして、DVDを返却の際には、ワンコインでもいいので新作の製作費カンパしていただければ、私たちがさらに励みになります。

今回はあえて素材を無造作に並べ、説明や演出は極力つけません。撮影に走っている中からこぼれてくる「野菜の乱切り」の形で提供します。主催する方の多くは辺野古で座った経験があったり、深く沖繩問題に関心を持ってきた方々だと思います。見る人たちに添えるべき情報を判断し、来てくれた方々に必要な補足をしていただけると思います。実はそこがミソだと思っています。

観客として見るのではなく、皆さんも必死に地域に発信するサテライトになってほしい、平和を作る力のある人たちを揺り起こすツールにしてほしい、平和分子の核分裂が起きる時の核になる人たちにこの素材をお渡ししたいと思い、その願いを込めて、編集しました。どうぞ存分に活用してください。そして新作映画が完成した暁には、是非こ

の動画を共有して下さった皆さんと共に劇場にお越しください。

**<お申し込み前にご確認ください>** ◆上映の期限は10月末日(申し込みは10月15日)まで。◆本作の貸出料金(上映料)はかかりません。◆より早く、より多くの上映会を開催していただくために、ほかの上映会との地域的、時期的な重なりは関係なく受付ます。あらかじめご了承ください。◆上映用素材はDVDのみになります。ディスク再生用のプレイヤー、プロジェクター、スクリーン、音響設備は主催者様側でご用意ください。◆入場料金(鑑賞料金)を取っていただいてもかまいません。◆DVDは、上映会終了から1週間以内に上映報告書を同封してご返送ください。返却時の送料は主催者負担(着払い不可)です。必ず追跡可能な方法でご返送ください。

**<お申し込みフォーム リンク>** <https://forms.gle/CKbhnYUH2s8KH13Z7>

**<上映会を開催する際に事務局から送付するもの>** \*開催予定日の1週間前を目安に送付します。◆上映用DVD…予備をふくめて2枚。・鑑賞人数などを記入いただく「上映報告書」。・三上智恵監督作成のスピノフ作品資料…1部(参加者への解説にお役立てください)。・『沖縄、再び戦場へ(仮)』カンパ金募集チラシ(鑑賞予想人数分を同封します)

**<その他>** オンライン上映会を開催希望の方は、上映会とあわせて三上智恵監督の講演会を希望の方は、事務局までお問い合わせください。

**<お問い合わせ先>** 沖縄記録映画製作を応援する会 事務局

◆Eメール: info@okinawakiroku.com / [okinawakirokueiga@gmail.com](mailto:okinawakirokueiga@gmail.com)

◆TEL:03-5919-1542(平日11:00~18:00) FAX:03-5919-1543

〒160-0022 新宿区新宿5丁目4-1 新宿Qフラットビル306号室 東風内

改憲よりも原発ゼロを!



Tomoharu Ohashi

小学生が考えた作品だそうです、センス抜群👍



## 日本のウクライナ支援強化も私が引き出したとアピール



YOMIURI.CO.JP  
日本の防衛費増額「私が説得した」、バイデン氏が岸田首相への働きかけ示唆  
【読売新聞】 【ワシントン=田島大志】米国のバイデン大統領は20日、カリフォルニア

### とても素直な日本の首相

|                |      |
|----------------|------|
| バイデン「防衛費増額しろ」  | 「はい」 |
| エマニュエル「LGBTやれ」 | 「はい」 |
| ゼレンスキー「カネくれ」   | 「はい」 |
| 諸外国「じゃあ俺にもくれ」  | 「はい」 |
| 日本国民「減税して」     | 「……」 |

いまいち りょう (土砂首都圏G)

~~~~~  
これは見逃せない 韓国のドキュメンタリー映画……

## 『金福童』 (キム ボクドン)

監督：宋元根 (ソン・ウォングン)、

制作：2019年、上映時間：101分、制作会社：ニュースタパ

トーク：梁澄子 (ヤン チンジャ)

日本軍「慰安婦」問題解決全国行動共同代表、「希望のたね基金」代表



14歳の1941年、日本軍「慰安婦」として強制連行され、中国、シンガポール、インドネシアなどの戦場を連れまわされた。あまりの辛さに自殺を図ったこともあったが、シンガポールで解放を迎え、米軍の捕虜収容所に収容された後、帰国した。

1992年、日本軍「慰安婦」であったことを告白した**金学順 (キムハクスン)** ハルモニの行動を伝えるテレビを観て、周囲の反対を押し切り、日本軍「慰安婦」被害者であったと名乗り出る。1993年のウィーン世界会議に参加して訴え、以来、人権のための多くの活動を行ってきた。

2012年3月8日国際女性デーに、**吉元玉 (キルウォノク)** ハルモニとともに戦時性暴力被害に苦しむ女性のための『ナビ(蝶)基金』を設立。コンゴ、ウガンダ、ナイジェリアなどの紛争地で性暴力被害に苦しむ女性たちや、ベトナム戦争時に韓国軍による性被害にあった女性たちを支援し、世界の女性たちの平和の連帯をつくり上げてきた。

2015年の「日韓合意」には、「お金で歴史を売った」と韓国政府に抗議して闘った。日本では、朝鮮学校の子どもたちを支援する『金福童の希望』基金を立ち上げ、奨学金をつくり活動した。そして90歳になっても、ソウル・日本大使館前での水曜行動の場に立ち、発言を続けた。こうして、日本軍性奴隷の被害者という苦しみを乗り越え、2019年1月28日に亡くなる直前まで、人々に平和と希望の尊さを訴え続けた。

「決して諦めず、希望を掴みとって生きよう」

勇気と愛をもって人々を励まし、人権活動家として生涯を終えた金福童ハルモニは、今も多くの人々から慕われ、敬われている。

この映画は2019年に韓国で製作され大きな反響を呼んだ。しかし日本では、コロナ禍もあって本格的な上映が出来ないまま3年が過ぎてしまった。金福童さんの4周年を迎える今年の1月から、全国で上映会がいろいろ開始されることになった。

## 朝鮮半島への植民地加害 (2)

※ 本稿は筆者の地元川崎市麻生区の「麻生平和市民ネット」主催、3/17~22 開催の「戦争の加害展」で展示したパネルの一部を編集したものです。

※ 韓国・北朝鮮の表記は新聞等に従った。統一国家名は 1897 年まで「朝鮮」、大韓帝国以降は「韓国」とし、分断後は「コリア」としたが、固有名詞や慣習的な表現はそのまま表記しました。

### 三・一独立運動 10 枚のレリーフを屋外展示: タプコル公園



独立宣言記念碑



三・一と 10 枚のレリーフ

第一次世界大戦は列強の植民地の取り合い、再分割を巡る戦争だった。その過程で略奪される側から、「民族自決」の気運が高揚する。バルト三国などヨーロッパの小国は次々に独立する。アジアでも中国の「五・四運動」などが起こった。

韓国の「三・一独立運動」は、日本の植民地支配に対する抵抗だった。この「パゴダ公園」で独立宣言が朗読され、「大韓独立万歳」のコールの集会とデモが、瞬く間に全国各地に広がった

「日帝（イルチェク）」の警察・憲兵隊は武力でこれを徹底的に弾圧。多くの死傷者や投獄者が出た（死者数千人と言われている）。韓国民衆の民族自決・独立の願いは踏みにじられ、日本の支配は、1945 年まで（「日帝 36 年」）続く。



公園入口の「三一門」

탑골공원（タプゴル公園） 1919 年当時の名称は「パゴダ公園」  
地下鉄鐘路3街駅下車、徒歩7分  
日本人の買い物観光客で賑わう仁寺洞（インサドン）の南入口右



↑ 1919年3月1日、日本による「併合」から10年目、韓国首都・漢城（ケソン=現ソウル）のパゴダ公園（現・タプコル公園）に、学生を主に市民も加わった数千人が結集、「独立宣言」文を朗読・決議し、「大韓独立万歳」を口々に唱えながら街頭デモに繰り出した。このソウルの街の感激と高揚が、瞬く間に全国へ広がって行った。



↑ 現北朝鮮東部の咸鏡道咸鏡郡では、3月2日、老若男女の多くの人々が「大韓独立万歳」叫びながら万歳橋を渡り始めると、日本の憲兵警察隊が銃剣を突き付け阻止する。しかし、誰もひるむことはなく、逆に「大韓独立万歳」の声は高まるばかり。そのとき、憲兵隊の銃剣が一人の少年の口を突き刺す。それでも少年の「万歳」の声は、ますます大きくなっていった。



↑ 現北朝鮮の首都；平安南道の平壤では、3月1日正午、キリスト教徒が、2月に死去した大韓帝国初代皇帝・高宗の追悼式を終え、礼拝堂から街に飛び出す。そこへ一般の市民や天道教徒も合流する。太極旗を掲げた「大韓独立万歳」のデモ行進は、日本の憲兵警察隊の銃剣、銃声にもひるむことなく続いた。



↑ 現北朝鮮西部の黄海道海州では、3月10日正午、女性が先頭に立って「大韓独立万歳」のデモを行なう。日本の騎馬警察隊が民衆を踏みつける。さらに、女性の髪の毛を馬の尾に結びつけて引きずり回す。それでも、彼女たちは屈することなく、デモを続行した。



柳寛順(ユ・カンスン) 像と西大寺刑務所の拷問の場

↑ 梨花学堂 (現・梨花女子大) 在学 15 歳の柳寛順は首都で三・一運動に参加。その後 4 月 1 日、郷里の忠清南道天安でも、数千人を前に「独立宣言」文を朗読。太極旗を手にデモの先頭に立つ。憲兵隊はデモ隊に発砲。両親ら 30 余人が死亡。寛順も負傷し、西大門刑務所に投獄された。ここでも「独立独立万歳」を叫び続け、拷問の末 16 歳で獄死した。



↑ ソウル南の京畿道水原・堤岩里で4月15日午後、高宗の追悼で集まったキリスト教徒と天道教徒などの民衆に、日本軍1個小隊が銃を乱射。人々が教会に逃げ込んだら、そこでも殺戮。さらに火をかけ、外へ逃げ出した女性も銃剣で突き殺した。



↑ 3月10日、北西部の江原道鉄原では、学生がデモの先頭に立つ。「大韓独立万歳」を叫びデモ。日本憲兵・警察隊は銃を乱射し、刀を振り回す。しかし、死をも覚悟した民衆は、ひるむことなく行進した。



↑ 釜山の西・晋州では、3月23日、女性数百人が「大韓独立万歳」を叫び、愛国歌を歌いながら行進した。日本の憲兵警察隊が銃剣で脅したが、「私らはノンゲ（1593年、豊臣秀吉の命で起こした朝鮮出兵時、日本の武将を道連れに南江に入水死した女性）の末裔」と叫んで、怯むことなく行進を続けた。





↗ 南西部の全羅北道・南原では4月3日、「大韓独立万歳」を叫ぶ数千人の民衆に、日本の憲兵警察隊が銃剣を突き付け10人余を殺傷した。その時、殺された男性の妻と母親が駆けつけ抗議。「独立を成し遂げてください」と言い残して自決した。



↗ 南部の済州島でも、3月23日、市民や学生が決起し、「大韓独立万歳」を叫んで、デモ行進を行なう。そこへ、銃剣を持つ日本の憲兵警察隊が暴行を加える。けが人が多数出たが、一人も流血に屈することなく、行進を続けた。



(参考) 大韓帝国初代皇帝・高宗は、1919年2月に死去。写真↑はその葬儀。三・一独立運動は日本の植民地支配に抵抗していた前皇帝の追悼行事と重なって、大きな運動として拮がった。

## 全漁連, 処理水に反対姿勢崩さず 首相, 風評対策で理解求める 処理水風評被害 88%が懸念 新聞記事 2 点紹介

たんぼぼ舎【TMM:No4842】から要旨転載

### 全漁連、処理水に反対姿勢崩さず 首相、風評対策で理解求める

東京電力福島第一原発の処理水海洋放出を巡り、岸田文雄首相は 21 日午後 4 時、全国漁業協同組合連合会（全漁連）の坂本雅信会長と面会する。政府関係者によると、22 日午前に関係閣僚会議を開催、月内を軸に放出開始時期を最終判断するとみられる。それまでに安全性確保と風評被害対策を徹底する方針を伝えることで理解を得たい考えだが、全漁連側は反対の姿勢を崩していない。

全漁連は今年 6 月、放出に「反対であることはいささかも変わらない」とする特別決議を採択。7 月に西村康稔経済産業相と会談した際も、坂本氏が「反対の立場は変わっていない」と伝えている。（中略）

海洋放出を巡っては、政府と東電が 15 年、福島県漁業協同組合連合会と「関係者の理解なしには（処理水の）いかなる処分もしない」とする約束を交わしている。

（8 月 22 日 12 時 29 分「共同通信」より抜粋）

### 処理水風評被害 88%が懸念 共同通信全国世論調査

共同通信社が 19、20 両日に実施した全国電話世論調査によると、東京電力福島第一原発の処理水放出に関し「風評被害が起きる」と懸念する声が「大きな」「ある程度」を含め計 88.1%に上った。マイナンバーのトラブル対応に、岸田文雄首相が指導力を「発揮していない」との回答は 79.8%を占めた。岸田内閣の不支持率は 7 月 14～16 日の前回調査 48.6%から 50.0%となり、支持率は 33.6%で最低水準が続いた。（中略）

処理水放出を巡り、政府の説明が「不十分だ」は 81.9%で「十分だ」は 15.0%にとどまった。放出自体には賛成 29.6%、反対 25.7%と意見が割れた。「どちらとも言えない」も 43.8%あった。（後略）（8 月 21 日「東京新聞」朝刊 3 面より抜粋）

## 「辺野古埋立土砂搬出反対！ 首都圏グループ」(≡「土砂首都圏 G」)の概要

**活動** ① 辺野古新基地建設とそれに関連する全ての施策・行為に反対。特に本州・西日本各地からの埋立土砂の搬出に反対します。同じ趣旨で行動する団体、特に「埋めるな連」「国会包囲実」「辺野古実」と共に首都圏の運動に参画し、積極的に担っていきます。② 「辺野古土砂全協」の東京での行動、防衛省・環境省への申し入れや、国会請願行動を中心的に担う。③ 同じ趣旨の市民と国会議員の共同行動を強化するため、国会ロビー活動を精力的に行ないます。

**組織** わが「土砂首都圏 G」は、市民の緩やかな、独立した「運動体」です。組織としての拘束は行ないません。当面は会員制・会費制は取らず、連絡網があるだけです。運営は、活動を中心になって担うリーダーの「委員」(当面は 10 名前後)と、委員から選出された「世話人」(当面は 3 名)が中心になって行なっています。委員からは運営費として年間 2000 円を徴収し、...それを超える場合はカンパで補っています。

### ※ 編集部より

- ◆コロナ禍の不自由な生活に負けない皆さんの積極参加、投稿を期待しています。
- ◆原稿は次へメールでお願いします。 [take.wakatsuki@gmail.com](mailto:take.wakatsuki@gmail.com) (若槻)